

「ウィーン国際青少年音楽祭」第一位受賞記念

第47回 定期演奏会

47th Annual Concert



玉川学園高等部 吹奏楽団

2014.3.22(土) 開演 18:00 (開場 17:30) 町田市民ホール

入場無料 指揮／長谷部 啓・波田野 直彦・川崎 以久哉

協力／(財) 町田市文化・国際交流財団

後援／町田市

問い合わせ先

玉川学園高等部事務室 042-739-8533

玉川学園音楽研究室 042-739-8598

玉川学園HP 「ニュース&イベント」情報 www.tamagawa.jp

[曲目]

第Ⅰ部 ～ウィーン公演の曲目から～

フェスティブ序曲／A. リード

(ウィーン国際青少年音楽祭課題曲)

セント・フローリアン・コラール／T. ドス

第Ⅱ部 ～ミュージカル・ミーツ・ウインズ～

賛助出演：玉川学園英語劇部

「ウエストサイド物語」～シンフォニック・ダンスより～

「レ・ミゼラブル」～歌とウインド・サウンドによる～

第Ⅲ部 ～21世紀の吹奏楽曲～

シー・ロック・シティ／B. カーリック

ミッドナイト・オン・メインストリート／B. バルメイジス

アメイジング・グレイス／F. テイケリ

組曲「ニュー・ロンドン・ピクチャーズ」／N. ヘス



玉川学園高等部吹奏楽団 <楽団紹介>



1965年、木村 仁先生（元玉川学園教諭）と2人の生徒により創立される。68年2度目の吹奏楽コンクール出場で東京代表として全国大会初出場を果たす。73年より、顧問・常任指揮者の高浪晋一先生（元国立音楽大学教授）のもと、東京代表として全日本吹奏楽コンクールに8年連続して出場。76～80年の間5年連続金賞を受賞、81年には東京都大会及び全国大会にて招待演奏を行う。74年には、第1回バンド指導者クリニックに、フランシス・マクベス氏のモデル・バンドとして招聘される。75年、NHK-FM「午後のリサイタル」、78年、NHK-TV「音楽の広場」に出演。

82年再び顧問が木村先生となったことを契機に、コンクール活動を中断し、以後2回の定期演奏会を柱とした活動を行う。84年第13回ウィーン世界青少年音楽祭に日本代表として参加し、ウィーン大賞など3つの賞を独占受賞。オーストリア・ハンガリー・スイスで演奏会を開催。86年に、サクソフォン四重奏で全日本アンサンブル・コンテストにて銀賞受賞。96、98年には、全日本高等学校選抜吹奏楽大会の関東代表に選出される。

99年長谷部 啓先生（玉川学園中学部より異動）が顧問・常任指揮者となり、再開したコンクール活動において18年振りに全日本吹奏楽コンクールの東京代表となる。2000年、東京デイズニerland・ミュージック・フェスティバルにゲスト出演。03年、NHK-TV「朝の連続小説挿入歌～ブルースカイ・ブルー（吹奏楽バージョン～）」をソニー・ミュージックよりCDリリース。03年にオーストラリア公演、04年に台湾公演、05年はヨーロッパ公演を行い、第15回ケルクラード世界音楽コンテスト吹奏楽部門において、最高得点及び最優秀金賞を受賞。ウィーンとフランクフルトで公演を行う。08年、第2回台湾バンド・クリニックに出演し、台北市内にて公演を行う。11年に、台湾嘉義市で開催された第15回世界吹奏楽大会（略称 WASBE）にモデル・バンドとして招聘され、5回の公演を行う。03～11年、全日本高等学校吹奏楽大会 in 横浜に東京代表として連続9回出場し、連盟会長賞（最上級の賞）を7回受賞。05年にミュンヘン・ザルツブルグ・ホール、08年は東京芸術劇場オペラシティにおいて、玉川学園中学部吹奏楽部・玉川大学吹奏楽団と共に「玉川大学・玉川学園吹奏楽演奏会」を開催する。

今年2013年は、7月に世界19か国・31団体が参加する「ウィーン国際青少年音楽祭」へ日本から唯一出場し、「ウィーン楽友協会黄金の間」でのコンペティションにおいて、吹奏楽部門第一位を受賞。「ウィーン・コンソルトハウス」での優秀団体による、ガラ・コンサートに出演。その他ウィーン市郊外での演奏会を開催する。また、音楽祭期間中ウィーン国立音楽大学で行われたワークショップでは、オーストリア出身の作曲家・指揮者トーマス・ドス氏より、氏の作品である「セント・フローリアン・コラール」の合奏レッスンを受ける。

今年2013年は、7月に世界19か国・31団体が参加する「ウィーン国際青少年音楽祭」へ日本から唯一出場し、「ウィーン楽友協会黄金の間」でのコンペティションにおいて、吹奏楽部門第一位を受賞。「ウィーン・コンソルトハウス」での優秀団体による、ガラ・コンサートに出演。その他ウィーン市郊外での演奏会を開催する。また、音楽祭期間中ウィーン国立音楽大学で行われたワークショップでは、オーストリア出身の作曲家・指揮者トーマス・ドス氏より、氏の作品である「セント・フローリアン・コラール」の合奏レッスンを受ける。

主な受賞歴

国内

- ・全日本吹奏楽コンクール 10回出場（金賞5回 銀賞3回 銅賞1回 招待演奏1回）
- ・東日本学校吹奏楽大会 3回出場（金賞2回 銀賞1回）
- ・全日本高等学校選抜吹奏楽大会 2回出場
- ・全日本高等学校吹奏楽大会 in 横浜 9回出場（連盟会長賞7回）

海外

- ・第13回AICEウィーン世界青少年音楽祭
ウィーン大賞・オーストリア国営放送特別賞・高校の部一位の各賞受賞
- ・第15回ケルクラード世界音楽コンテスト
吹奏楽ディビジョン2／最優秀金賞（最高得点）
- ・Summa Cum Laude ウィーン国際青少年音楽祭2013 吹奏楽部門第一位

<指揮者紹介>

長谷部 啓



1958年長野県生まれ。1982年玉川大学文学部芸術学科音楽教育専攻卒業。指揮法を村方千之氏に師事する。1982年より98年まで玉川学園中学部教諭を務め、同吹奏楽部の顧問・指揮者として全日本吹奏楽コンクール中学の部に5回出場し、1985年に金賞を受賞する。

1992～98年には東京交響楽団とのジョイントコンサートを企画し、98年に同コンサートにて児童福祉文化賞舞台芸術部門の推薦作品に選ばれ、厚生大臣賞を受賞する。

1999年より玉川学園高等部音楽科教諭となり、同年玉川学園高等部吹奏楽団を指揮し、全日本吹奏楽コンクール高校の部へ東京代表として出場。全日本高等学校吹奏楽大会 in 横浜には、2003年から9年連続で出場（連盟会長賞を7回受賞）。また、2005年には、オランダで開催された世界音楽コンテスト吹奏楽部門で最優秀金賞を受賞する。2008.09.12年、東日本学校吹奏楽大会に東京代表として出場し2度目の金賞を受賞。2013年、ウィーン国際青少年音楽祭において、吹奏楽部門第一位を受賞。現在、玉川学園高等部教諭。同吹奏楽団顧問・常任指揮者。玉川大学吹奏楽団顧問。東京都高等学校吹奏楽連盟常任理事。東京都吹奏楽連盟理事。

波田野 直彦



日本における西洋音楽史を語るには欠かせない日本初の洋楽楽団「ハタノ・オーケストラ」主宰、故波多野 鎌次郎を祖父に持ち、そのDNAを受け継ぐ。玉川学園高等部、東京音楽大学卒業。トランペットを山本武雄、北村源三、細田忠義に、作曲和声楽を池辺晋一郎、指揮法を今村能の各氏に師事。玉川学園在学中に全日本吹奏楽コンクールにて3年連続金賞受賞。音大在学中よりプロ活動を始める。作編曲者としても活動し、特に管楽器 Pops 系作品を多数書き下ろす。楽譜出版やネットを通じ世界的に演奏されている。特にアジア圏に於いては絶大な人気を得ており、2011年アジアで開催された「世界吹奏楽大会 in 台湾（WASBE）」の開会式公式テーマ曲の編曲を担当。その作品は全アジア中に生中継で放送された。

公演活動としては結成15年を迎えるTHE WINDWAVE のリーダーとして势力的にライブ活動を展開中。09年に待望の初CDを発売。2013年より「日本高等学校吹奏楽ジャズ・ポップス大演奏会」で審査員を務め、吹奏楽 Pops の普及と啓蒙活動に力を注いでいる。玉川学園の吹奏楽団には「ド・レ・ミ」「ラプソディー・イン・ブルー」の他、「ネオ・クラシック」をテーマに、現在までベートーヴェン「交響曲第5番」、チャイコフスキー「くるみ割り人形」、ブラームス「交響曲第1番」「キラキラ星」「魔

法使いの弟子」「仮面舞踏会（ハチャットリアン）」等の作品を書き下ろし、それぞれ全日本高等学校吹奏楽大会 in 横浜や定期公演において初演。

現在玉川学園講師。K12吹奏楽団顧問。同大学吹奏楽団顧問。THE WINDWAVE バンドリーダー。日本音楽著作権協会会員。

主な吹奏楽作品として

- 「ラプソディー・イン・ブルー」(00)「ドレミ」(03)
- 「AnotherSymphonyNo.5」(05)
- 「くるみ割り人形」(07)「ブラームス1番」(08)
- 「キラキラ星」(09)台湾大ヒット映画「海角七号」(09)
- 「賽徳克巴萊」(11)「SOMA FANTASY」(11)
- 東京音楽大学創立100周年記念講演にて編曲・指揮
- 横浜開港150周年記念公演
- ロンドン・オリンピック公式応援曲「Heart Beat」吹奏楽編曲

◆町田市市民ホールへのアクセス

〒194-0022 東京都町田市森野 2-2-36
小田急線町田駅（西口）徒歩約7分
JR 横浜線（中央口・小田急線連絡口）から徒歩約10分
※町田市市民ホールには専用駐車場はありません。
民間有料駐車場をご利用ください。

